東京消防庁

嗣兼東京連合防火協会

No. 220 令和6.8

防災運賃

8月30日~9月5日 「9月1日は防災の日」

9月1日は「防災の日」です。この日は、大正12年9月1日に発生した関東大震災、昭和34年9月に襲来した伊勢湾台風などをきっかけとして定められました。

また、8月30日から9月5日までを防災週間として定め、全国的に防災普及行事が展開されてきました。

災害による被害の軽減には、防災学習や防火防災訓練等、一人ひとりの防災意識、防災行動力の向上が必要不可欠です。そういった状況を踏まえ、ここでは家庭で今すぐ実施できる「地震から命を守る家具転対策」と防火防災体験が気軽にできる「本所防災館」をご紹介します。

地震から命を守る家具転対策

地震時には、揺れによる家具類の転倒・落下・移動が原因で、けが・火災・避難障害が発生することがあります。 東京消防庁が過去の大規模地震時に原因を調査した結果、けがをした人のうち約3割~5割は、家具類の 転倒・落下・移動によるものでした。



■原体■原体■家具転対策の

▲家具転刈束の 詳細はこちら

も発生しています。東京では、 首都直下地震等の大規模地 震の発生が懸念されています。地震から命を守るために、 家具転対策を実施しましょう! 家具転対策器具は給付・取付 などの助成を行っている区市 町村もあります。





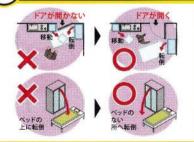


家具転対策 3つのポイント



納戸やクローゼット、据え付け家具への集中収納!生活空間をスッキリ!

2 レイアウトの工夫



けが・避難障害を発生させにくい レイアウトの工夫!

3)対策器具の設置



レイアウトを工夫したうえで、対策器具を設置! ポール式(つっぱり棒)・マット式など壁を傷付けにくい対策器具も!

回 寛 (裏面もごらんください)

本 所 防 災

本所防災館では、令和5年度に救出救助体験コーナーを新設しました。

本コーナーは「二次災害防止エリア」、「オリエンテーションエリア」、「救出救助・搬送体験エリア」、 「振り返り学習エリア」、「絵巻で学習エリア」の5つのエリアで構成されており、日ごろの備えから地震 発生後の身の守り方、人が家具などに挟まれてしまった場合の救出方法など、自助と共助について 総合的に学習できるコーナーとなっています。

その他にも「暴風雨体験」、「地震体験」、「煙体験」、「VR防災体験」など、様々な体験コーナーを とおして防火防災について学ぶことができるので、この機会にぜひ本所防災館にお越しください。

救し出し救し助し体し験しコープナー



アクセス

〒130-0003 東京都墨田区横川4-6-6

開館時間

午前9時~午後5時

休館日 水曜日・第3木曜日(国民の祝日にあたる場合は直後の平日)

年末年始(12月29日~1月3日)

問合せ先

TEL:03-3621-0119 FAX:03-6634-5564

ホームページ

https://tokyo-bskan.jp/bskan/honjo/





本所防災館の



詳しくは東京消防庁ホームページへ



東京消防庁ホームページや 東京消防庁公式アプリへは こちらからアクセスできます。 問合せ先

